

(32)マイボトルの普及を目指して

私の勤務する大学のゼミ生が「マイボトルの普及を目指して」というテーマで共同研究を行なった。近年、ステンレス魔法瓶の出荷量は急速に増えているが、さらなる普及を進めるにはどうすればよいかという問題を考察した。

まず、大学生に対するアンケート調査では、男性 127 人、女性 39 人のうち、マイボトルを使っている男子学生は 18%、女子学生は 46%であり、使用している理由は「節約になる」「飲みたい時に飲める」「おしゃれ」「環境によい」という順であった。今日の経済不況が、学生に影響を及ぼしていることが読み取れるが、実際、ペットボトルの購入量は、マイボトル使用者で週に平均 1.5 本、マイボトル非使用者で平均 3.8 本となっており、マイボトル使用者は節約志向が強い。一方、マイボトルの不満点は「かさばる」「思い」「洗うのが面倒」という順。そこで、飲料水を自動販売機などで購入できればというわけで、既に京都市役所のエコ・コンビニで導入され、また、ファミレスにあるドリンクバー方式であるディスペンサーを利用し、価格を安くすれば(例えば、250ml で 50 円程)利用したいという回答は 65%に上がった。

さて、アンケート結果からは女子学生のマイボトル利用者が多いが、マイボトルを利用することによってペットボトルの購入を節約できる金額は、1 本 150 として、年間 1 万 6425 円にもなる。さらに、わが大学の全学生は約 2 万 8000 人であるから、ディスペンサー利用希望者の 65%がマイボトラーとなったとすれば、1 年間の CO2 削減量は、実に 374 トンの削減になる。

従業員の 44.2%が職場にマイボトルを持参しているミツカングループ本社のように、オフィスでのマイボトルの利用を増やし、ディズニーのスーベニアカップとしてマイボトルのデザインを企画するとか、ディスペンサーを利用できるコンビニを増やすことによって、マイボトルを普及するのではというのが、学生の提言であった。

以上